

<研究課題名>

臨床データベースを用いた糖尿病、糖尿病合併症の病態解析

<研究期間>

2016年7月1日～2024年3月31日

<研究の目的と意義>

医学の進歩により、日本人2型糖尿病患者さんの平均HbA1cは7%未満に改善してきていますが、それでもなお糖尿病合併症の進行による透析の導入や失明、大血管障害（脳梗塞や心筋梗塞など）の抑制は十分ではありません。そこで、新たな臨床指標や治療法の開発による血糖コントロールのさらなる改善、合併症の予防が望まれています。当院の電子カルテデータベースを用いて糖尿病、糖尿病合併症の病態解析を行うことにより、糖尿病、糖尿病合併症の新たな臨床指標の開発や病態の理解を深め、糖尿病臨床の発展に寄与することを目的にしています。

<研究方法>

電子カルテデータベースよりデータ（血液・尿検査、心電図やレントゲン、診察所見など）を適宜、実施期間内に抽出します。各患者さんの糖尿病、糖尿病合併症の臨床像、病態とデータとの関連を統計学的に解析します。

<個人情報保護、研究参加の拒否について>

本研究は、ヘルシンキ宣言、ならびに「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（厚生労働省）を遵守して行います。本研究で得られた患者さんの診療記録や検査結果といった個人情報は厳重に保護し、患者さん個人が特定されないよう連結可能匿名化を行うなど取り扱いには十分留意します。また、今回収集するデータは本研究のみに使用します。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当者にお申し出ください。

<結果の公表>

研究の結果は、学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。

担当責任者

松下記念病院 糖尿病・内分泌内科

橋本善隆

Tel : 06-6992-1231 (代表)

2022. 4. 1. 改訂